

# 令和2年度エリアサポートモデル校

みどり市立大間々南小学校の取組について

# みどり市立大間々南小学校

## 学校の教育目標

豊かな心と健やかな体をもち

主体的に学ぶ児童の育成

- 正しく生きる
- 元気に遊ぶ
- 本気で学ぶ

# 令和2年度 東部エリアサポートモデル校

## 【 主な取組 】

学校サポート

全ての教員対象研修

専門性向上研修

保護者対象研修

専門性向上検討会議

特配教員による  
授業実践

授業の中での  
ユニバーサルデザイン

# I. 学校サポート

## ○サポーター

群馬県特別支援教育課 三島 貴之 指導主事

前渡良瀬特別支援学校 植木あゆみ 専門アドバイザー

## ○気になる児童についての授業参観と担任との面談（年2回）

7月・11月

## ○気になる児童の実態と支援について 全校で共有



## Ⅱ．全ての教員対象研修

○全ての教職員が身に付けるべき基礎的な知識・技能に関する研修を行い、専門性の向上をめざす

- 1．気になる子 発達障害について
- 2．発達障がいのある子どもへの支援

## Ⅱ - 1 「気になる子 発達障害について」

令和2年8月3日（月）

講師：植木あゆみ 専門アドバイザー  
（渡良瀬特別支援学校）

対象：大間々南小学校職員  
大間々南小学校評議員  
みどり市特別支援コーディネーター  
近隣幼保職員

- 発達障害について
- こどもの気もち体験

発達障害について 体験してみよう  
～気になる子への理解と支援～



令和2年8月3日（月）

渡良瀬特別支援学校 専門アドバイザー  
植木あゆみ



# 気になる子への理解と支援 ～具体的な対応例～

令和2年9月4日  
群馬県教育委員会 特別支援教育課  
指導係 三島 貴之

令和2年9月4日（金）

講師：三島 貴之 指導主事  
（群馬県特別支援教育課）

対象：大間々南小学校職員



- 授業や生活面で困っていること
- 教師の言葉がけについて

## Ⅱ - 2

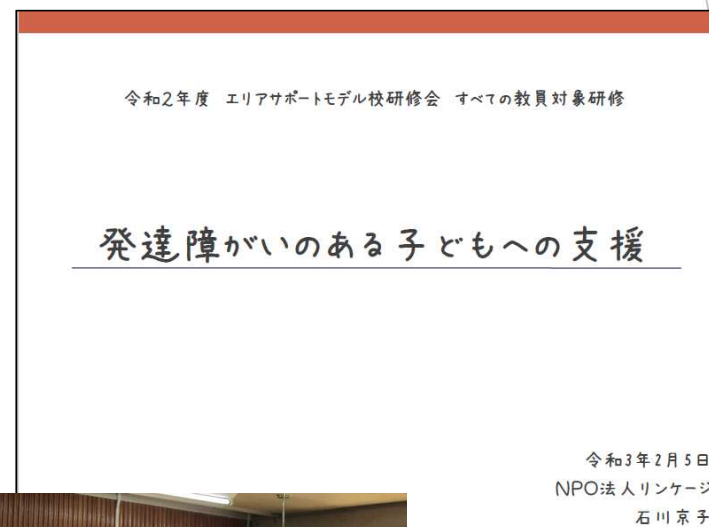
# 「発達障がいのある子どもへの支援」

令和3年2月5日（金）

講師：石川京子 様  
（NPO法人リンケージ理事長）

対象：大間々南小学校職員

- 発達障がいと二次障害
- 発達特性の5つのグループから対応を考える





## Ⅲ. 専門性向上研修

### ケース検討会議

発達障害について正しく理解し、一人一人の障害特性や発達段階に応じた適切な指導・支援ができるようにする

令和2年10月21日（水） 低学年  
10月23日（金） 高学年

参加者：植木あゆみ 専門アドバイザー  
(渡良瀬特別支援学校)  
三島 貴之 指導主事  
(特別支援教育課)  
小川 和子 指導主事  
(東部教育事務所)



# ケース検討会議

事前準備：情報シート作成

情報提供



情報収集とグループ検討



専門家の意見



まとめ

## ケース会議における事例提供シート

事例提供シート (担任が事前作成)

1 気になることのうち、話し合いたいことを1つあげてください。

2 それはどんな状況の時にみられますか。

3 Aさんの実態・特徴をあげてください。

4 Aさんに対して、先生はどんな配慮やかかわり方をしていますか。

5 その配慮やかかわりによって、Aさんはどのようにになりましたか。



## IV. 保護者対象研修

令和2年9月4日（金）

講師：三島貴之 指導主事

※PTA実行委員会にて



## V. 専門性向上検討会議

令和2年11月20日（金）

指導助言：石川京子 様

（NPO法人リンケージ理事長）

- ・失敗経験が少ないまま成長すると...
- ・生きるために必要な『お世話』

# 発達障害のあるなしにかかわらず 児童一人一人が活躍できる授業実践



校内研修テーマ

主体的に学ぶ児童の育成  
～一人一人が活躍できる授業実践を通して～

特配教員が主となる  
授業実践

校内研修と連携した  
授業の中の  
ユニバーサルデザイン

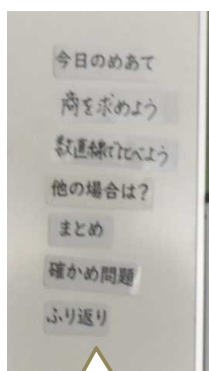
## Ⅵ. 特配教員による授業実践

第1回 11月5日(木) 5年算数

第2回 2月10日(水) 5年道徳



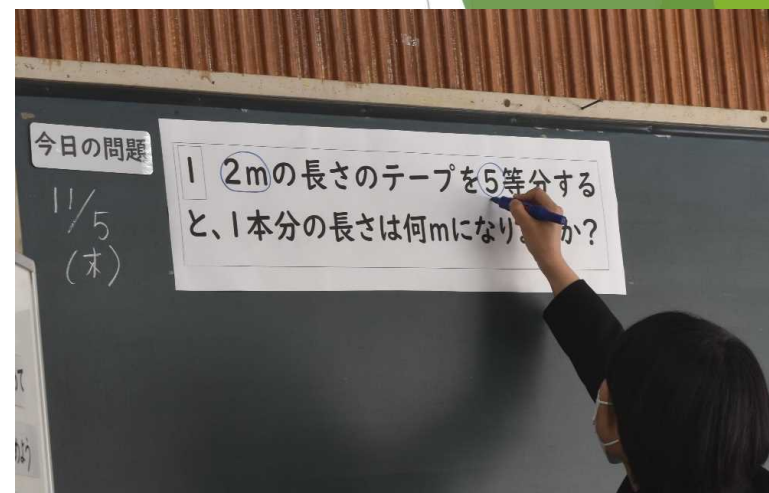
# 第1回 算数「分数と小数・整数」



導入で2mのテープを提示

45分間の授業の流れを  
ホワイトボードに提示

数字だけでは捉えにくい  
児童にとっての視覚的支援



学習のみあてを提示

# 二つ折りにしたワークシート

個 → ペア → グループ

⑫分数と小数・整数 ( )番 名前( )

今日の問題  
2mの長さのテープを5等分すると、1本分の長さは何mになりますか？

今日のあて  
め

解を求めよう  
(式) (式)  
(答) (答)  
筆算スペース▶

板書で比べよう  
0 1 2(m)  
分数  $\frac{1}{5}$   
小数 0.1  
m= m

まとめ  
⑧ 分数の【 】を【 】でわると、  
【 】で表せることがある。

確かめ問題  
①  $\frac{7}{10} = \square \div \square = \square$     ②  $\frac{29}{100} = \square \div \square = \square$   
③  $\frac{3}{5} = \frac{8}{5}$     ④  $\frac{12}{4} = \square \div \square = \square$

ふり返り  
⑨



グループでは  
ラミネートシートを活用  
考えを比較・検討

二つ折りにしたことで  
余計な情報が入らず  
取り組む内容が焦点化

板書と一致したワークシートで  
思考の流れがわかりやすい

## 第2回

# 道徳 希望と勇気、努力と強い意志 「世界最強の車いすテニスプレーヤー

—— 国枝慎吾」

(出典 道徳5年 光村図書)

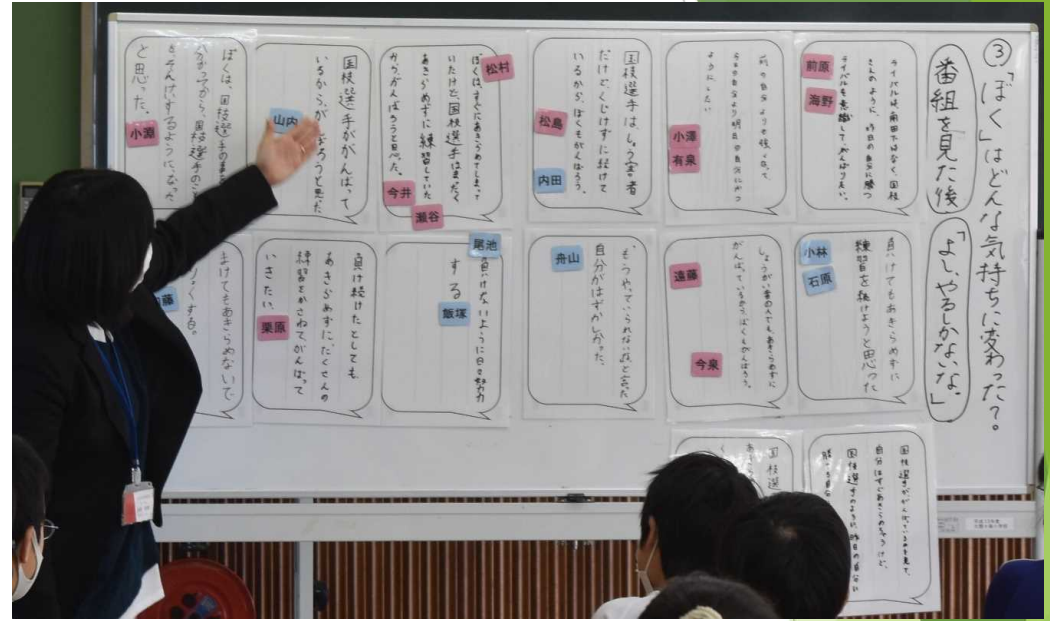


導入の資料提示

価値に迫るための有効な資料  
「5分間で跳んだ長縄の回数」の  
折れ線グラフ

児童から出てきた言葉を使ったためあて  
「あきらめそうな時、  
どうしたらいいのだろう？」





吹き出しシートにグループの意見

各意見にネームプレートを貼りその後、考えを共有化

めあてについて考える  
自分への手紙



# VII. 授業の中でのユニバーサルデザイン

## 1. 環境整備



すっきりとした机  
情報量をおさえて集中できる

発言が苦手でも意思表示できる

シンプルな記号

	めあて		まとめ
	ふりかえり		など

				みなみ小 ハンドサイン
いけん	つけたし	さんせい	はんたい	



## 2. 授業

### 教師から見た児童の課題

集中力の持続しない児童



ねらい・めあてを明確に  
テンポ良くメリハリをつけて

発言の少ない児童



ハンドサイン・うなずき  
理解度の記入

聞くことの苦手な児童



短い指示・視覚化  
手順やルール

気持ちを上手に伝えられない児童



小さな選択肢  
フェイススケール

# 授業のユニバーサルデザインで意識する 3つのポイント

視覚化（ビジュアル）

焦点化（シンプル）

共有化（シェア）

# 特配教員からの発信

みどり市立大間々南小学校  
教員向け通信 No.2  
2020/8/24号  
文責

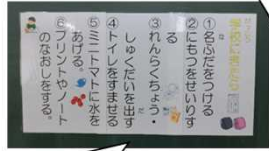
## エリアサポート通信

### 夏休み中の学校探検にて…。

普段、自分が授業をしている教室以外って、案外見ないものですね。なので私は、長期休みの日曜の日は、ちょっと学校探検気分です。そうすると、先生方の素敵なアイデアをたくさん目にし、よく参考にさせて頂いてもらっています。  
エリアサポート第2号では、そんな学校探検の中で発見した素敵なアイデアや早速お寄せいただいた取り組みについて、エリアサポート的な視点から紹介させていただきます！

#### < 教室環境編 >


**①活動の流れカード<2年教室>**




朝の活動の流れについて番号と簡単な言葉（イラスト）でまとめられています！朝の活動に時間がかかる子にとってやるべきことと順番が示されていることで低学年でも進んで取り組むことができ、先生の口頭指示や注意も減り、WIN WINですね！！この流れが習慣付けば、カードなしでもいけそうですね！ちなみに、1年生はイラストカードで取り組んでいるようです！

ラミネートしておくことで、繰り返し使って毎回板書しないで済み、便利です！

**②教室棚（前右）の活用<6年教室>**



エリアサポート第1号で紹介した「提出物の分類箱」と「配布物お願いBOX」が棚の中に収まっています！スペースの使い方がお上手！！常設しておけば、毎日箱を並べる先生の手間はぶけますね。



みどり市立大間々南小学校  
教員向け通信 No.4  
2021/1/27号  
文責

## エリアサポート通信


### 久しぶりの発行です！発行がおろそかになってしまい申し訳ありません…。

今回は、①係の連絡ボードと②授業実践報告の紹介です。

#### 係の連絡ボード

【使い方】

- 各教科（担当の先生の授業）の係の児童が、次回授業の連絡を聞きに行く時に、ハンとともって持っていく。
- 聞いた内容をボードにメモする。
- 帰りの会でボードをもとにクラスみんなに連絡をする。




このように、1学期から使っていました。高学年ということもあり、特に話し方（先生への連絡の聞き方、クラスみんなへの連絡の仕方）についての指導はしていませんでした。しかし！！3学期になり、みんなの前で話すことが苦手なN君や音声指示は通りにくい（みんなが言っている連絡は聞いていない）U君が係になったのです…。

そこで、下のような改善案を考えました！今後、実施していく予定です。

【改善案】

下図のような話の型をボード裏に貼り、これをもとにクラスみんなに連絡をする。

- 係からの連絡です。
- 明日の授業の連絡は 係 です。
- 持ち物は 係 です。



普段は教室後ろの壁面に掲示してあります。連絡を聞き進んでもあとで自分で確認できます！

実際によっては、先生に連絡を聞きに行く時の話の型があってもいいかと思います。

話の型をもとに話すことを繰り返すことで、少しずつ自分のものになっていくといいのですが…、きっと人前で話すことが苦手な子の背景にはもっとたくさん理由が潜んでいるので、試す→改善の繰り返しですね。

みどり市立大間々南小学校  
教員向け通信 No.5  
2021/3/26号  
文責

## エリアサポート通信

### 新年度準備リストについて

まずは、1年間エリアサポートということで、いろいろな取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。

1年が終わったな～と思っていると、あっという間に新年度がやってきますね。あっという間に始業式前日…「教室環境ぜんぜん整ってない！！」なんてことはありませんか？そこで！！先日、研修企画委員会「南小スタンダード」を確立していくために、まだ先生方の仕事量の軽減を図るためにも、教室環境について新年度準備リストを作ることを企画します。学級開きのために準備しておくというもので、現段階で思いつくものはこんな感じです。細かい留意点などについては、改めてリストとともに後日配布します。

<input type="checkbox"/> ネームプレート (机前面用、大小など)	<input type="checkbox"/> 朝の会・帰りの会進行表
<input type="checkbox"/> 給食当番表	<input type="checkbox"/> 係カード、個人目標カード
<input type="checkbox"/> そうじ当番表	<input type="checkbox"/> 名前シール貼 (下駄箱、ロッカー、児童椅子)
<input type="checkbox"/> そうじの仕方について	<input type="checkbox"/> 廊下フック 番号シール貼 (1・2年は名前シール)
<input type="checkbox"/> おたよりの掲示関係	

※ここで先生方に協力をお願いします！！※

すでに今年度教室で使用されているものたち（過去のものでもOK）のデータや写真データなどを以下の共有フォルダに募集します。また、単学級なので、次年度でも使えそうなものは引き取りましょう。急なお願いで申し訳ありませんが、3/30(水)までに入れてもらえるとうれしいです！その後、精選させていただきます。新年度改めて提案させていただきます。皆さんで南小のスタンダードにしていきましょう！！ご協力お願いいたします。何か不明な点は、お声かけください。

TCO1-R2 年度-R2 特別支援エリアサポート★新年度準備リスト  
こちらにお願いします

## 教室環境編



提出物回収箱の分類



配布物お願いBOX





個人持ちBOX

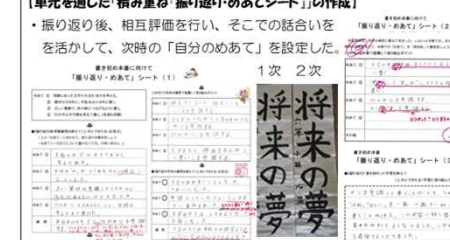


日直の仕事チェック

# 特配教員以外の授業実践

授業実践報告		名前( )
指導クラス	5年1組	
指導教科	国語	
単元・題材	よりよい学校生活のために(話す・聞く)	
クラスの実態	学習への意欲が低く、集中が続かない児童がおり、話し合い活動が停滞することがあり、グループ分けには配慮が必要である。発言することに対して緊張感を強く持っている児童や自分の考えを言葉で述べるのが苦手な児童もいる。	
手立て	ポイント	<input type="radio"/> 視覚化…学習内容をイメージしやすくする <input type="radio"/> 焦点化…指導内容を絞る <input type="radio"/> 共有化…学習者間で学びを確認・拡散する
目的	学校探検の中から学校の諸問題を見つけることで興味を持ち、学習への意欲を高める。身近で具体的な諸問題を課題にすることで、課題意識を高め、自分の意見を持てるようにする。	
内容	・話し合いの課題を見つける活動として、学校探検を行った。児童は、班に1台ずつカメラを持ち、学校内の課題と感ずることを見つけて写真を撮った。 ・撮った写真は短冊(言葉)にまとめ、模造紙一枚にカテゴリー分けし、教室に掲示した。 	
成果	・実際に学校探検し写真を撮ることで、調べた児童自身の課題意識が高まるだけでなく、他の児童とも課題を共有することができた。 ・自分の気持ちや考えをたくさん写真におさめようとする、意欲的な姿が見られた。 ・課題に対する自分の意見や考えを持つ児童が増えた。	
課題	・話し合いの中で意見一つにまとめるスキルをもっと高めていく手立てを考える必要性を感じた。 ・せっかく児童から出た課題案について、全て話し合う機会を設定できそうにない。	

授業実践報告		名前( )
指導クラス	2年1組	
指導教科	算数	
単元・題材	水のかさ	
クラスの実態	算数の学力上位児童と支援を必要とする児童の学力差が大きい。また、支援を必要とする児童の数が多く、意欲面にも大きな差があり、学ぶ意欲が低く集中が続かない児童が数名いる。	
手立て	ポイント	<input type="radio"/> 視覚化…学習内容をイメージしやすくする <input type="radio"/> 焦点化…指導内容を絞る <input type="radio"/> 共有化…学習者間で学びを確認・拡散する
目的	水筒やペットボトルなどの具体物を使うことで、数量の関係性についての実感を伴った理解ができるようにする。また、数学的活動をすることで、注意の集中を持続することが苦手な児童が学ぶことを楽しめるようにする。	
内容	水筒とペットボトルに入っている水のかさどちが多いかを、実際にますにいれて比べる活動を行った。  ・さまざまな水のかさの容器を示し、数字と単位で表した水のかさが実際にはどのくらいの量なのかを視覚的に理解できるようにした。	
成果	・水筒とペットボトルの「水のかさ比べ」という数学的活動は、子どもたちの興味を引きつけることができた。 ・教科書のL図と実際のますを対照させることで、数量について視覚的に確認できたので、理解が深まった。 ・1L=10dL や 1L=1000mL、1dL=100mL などの数量関係については視覚的に確認できたが、「300mLは何dLですか。」のような問題になるとできなくなってしまう児童が増えてしまう。	
課題	・1L=10dL や 1L=1000mL、1dL=100mL などの数量関係については視覚的に確認できたが、「300mLは何dLですか。」のような問題になるとできなくなってしまう児童が増えてしまう。	

授業実践報告書		名前( )
指導クラス	1年~6年 全クラス	
指導教科	国語「書写」	
単元・題材	書き初め	
クラスの実態	・指示されたことは、真面目に、一生懸命取り組もうとする児童が多い。 ・学習のめあてに対する自分の習熟度の把握や、前時の習得内容に対する自分の修正点や修正方法を考える力や試行する根拠強さ、判断力に欠ける児童が多い。	
手立て	ポイント	<input type="radio"/> 視覚化…学習内容をイメージしやすくする <input type="radio"/> 焦点化…指導内容を絞る <input type="radio"/> 共有化…学習者間で学びを確認・拡散する
目的	・単元や本時のめあてに沿った「自分のめあて」設定を確実にするため。 ・自分の課題に気づき、解決する方法を探り、試行錯誤できるように、多様な修正点や修正方法を知り、自己決定のための選択技を増やすため。 ・一単元を通して(1次~3次と積み重ねて活動)行い、相互評価も実施することで、「自ら学ぶ力」となる自己変容の把握や自己決定ができるようになるため。	
内容	<b>【単元を通した「積み重ね」振り返りめあてシート】の作成</b> ・振り返り後、相互評価を行い、そこでの話し合いを活かして、次時の「自分のめあて」を設定した。 	
成果	・単元のめあてを示し、焦点化することで、「自分のめあて」を明確にし、繰り返し取り組むことで、児童一人一人の「知識・技能」も確実に伸ばすことができた。 ・一単元を通して積み重ねた活動を行ったことで、自分の修正点や修正方法を的確にとらえ、実践することができるようになってきた。	
課題	・的確な「自分のめあて」を設定できない、またはアドバイスをうまく活かさない児童への支援の仕方。 ・個に応じたアドバイス(支援)のための時間確保	